

町民の声

人生の門出に思う

三好 一弘

今年になりました、大きな事件も多く町民の一人として、誠に残念ではありません。特に、米軍の協力に大予算が目につき、国民の大切な厚生年金も少し減っており、生活も不安があります。この先が「軍事大国」化の心配もあります。

当町の予算も少し時代に合ったものと思っております。教育問題も時代に、ふさわしいものにしなければなりません。特に、

常にも多く、毎日のように報道されています。私が子供の頃は、生活は大変でしたが、心は愛情で溢れていたように思います。毎朝、母が台所に立ち、食事の準備をするまな板の音を目覚ましに、起床したものです。そこで私は、「食育」を柱に青少年健全育成に取り組んでもらいたい。家庭で食卓を囲んで対話するなかで家族の愛情を感じながら、食事作法や礼儀を自然に身につけることができるし「食育」の力は、青少年の歪みかけた心もバリアフリーに解決すると思います。先日「バルトの楽園」の映画を見て感銘。その中で「こちらが心から相手を信頼すると、相手も信頼されようとする」と。『信頼』の二文字は、今日の社会で最も求められ必要であると共感しました。

又21世紀にふさわしい町政を心より希望するものですが、特に町民本位を優先して楽でない財政状態にあつて今後の見通しをよく考えて、輝かしい松前町の発展に心血をそそいでほしいと心よりお願いしてやみません。

傍聴席

6月議会を傍聴して

無職 菅野 雅運

「健康で、生きる喜びの生活実感勝ち取る松前町」と、挑戦を進める議会に期待する町民の一人です。

6月議会を傍聴させて頂きました。唯一女性である松本議員の質問は、女性の立場から社会的弱者の視点で学校教育現場の改善、不妊症対策でしたが、将来の我が町に押し迫る少子化対策を想定して手を打ち、実行と実証する決意を感じました。

最近、青少年犯罪が異なっており、十分に通学の時の安全は、十分にしなければなりません。子供の数が減っているのに、国の将来をこの子供達にまかすのですから、人間らしく将来性のある子供に成長することが大切です。

「義農精神」を生かして、助け合う心を養う必要もあります。又教師は子供との血の通った温かい心の交流が今こそ大切でして、「教育の町」にふさわしい教育をしてほしいです。

傍聴のご案内

住所・氏名を届けるだけで、どなたでも自由にできます。

松前町議会は、本会議と各常任委員会が傍聴席を設け一般公開されています。

傍聴の手続きは、議会事務局（庁舎5階）で住所・氏名を書くだけの簡単なものです。

多くのみなさんの傍聴をお待ちしています。

（今回は9月中旬～下旬です。）

町民の声の原稿をお寄せ下さい

町政や議会、本誌に対するご意見・ご要望などをどしどしお寄せ下さい。（500字程度）

宛先

松前町筒井631
議会広報編集特別委員会
町民の声
FAX 985-4148
E-mail
500gikai@town.masaki.ehime.jp